

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス げんき		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 3日		~ R8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R8年 2月 3日		~ R8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者にとって、安心できる場所、楽しい場所となっている	利用者の日々の様子や変化をすぐに共有し、状態に応じてすぐに対応しています。利用者が安心できる場所となるように意識して関わるようにしています	日々の打ち合わせや振り返りは継続し、利用者の好きなことや得意なことの情報を得ながら、楽しい活動、自分でできたと感じられるような活動につながるよう利用者との関わりを大事にしていきたいと考えています
2	利用者に応じた支援	個々の特性を理解し、職員間で共有しながら個別支援計画に基づいた一人ひとりに合う支援を検討しています	研修や勉強に参加しながら職員間の共有を継続し、利用者への理解が深まりより良い支援に繋がるように取り組んでいます
3	子ども同士の交流を積極的に促進し、協力や支え合いの姿勢を育むことに重点をおいている	異年齢層の子どもたちとの関わりを大切にし、社会的なスキルや共感力を養う場を提供している	事業所内だけではなく他事所や地域など関わる事が出来る活動を実施していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者の方向士の交流の機会	イベントは企画するが開催が難しい状況 保護者様同士が顔を合わせる機会がすくないこと	保護者交流会、保護者参観を開催し、保護者様同士の関わりや相談の場を提供していく 定期的に親子参加型のイベントを企画していく
2	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達との交流する機械が提供できていないこと	平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく
3	情報発信	法人HPを十分に活用できていない ログの更新がなかなかできていない	プ お便りやブログを活用し保護者様や地域・連携機関への配布をしていく